

■ 前橋かるたゆかりの場所を訪ねて



と 殿様ねむる龍海院



め 名声とわに 下村翁



せ 世紀の詩人 朔太郎

前橋かるたは文化国際課で貸し出しをしています。また、富士見かるた・下川淵カルタ・あずまかるたはそれぞれの地区公民館・市民サービスセンターで、芳賀かるたは芳賀小で販売しています。



(左から) 芳賀かるた・富士見かるた・下川淵カルタ・あずまかるた

編集後記
生まれてからずっと前橋に住んでいますが、今回の取材で初めて訪ねたところもあり、意外な発見がありました。前橋かるたがもつとたくさんの場面で活用されることを期待しています。(奈良)

かるたをとおして前橋の歴史や人物を知ることができました。少しでも多くの人に前橋の宝を知ってもらい、地元を見直してもらえたらいいな、と感じました。(狩野)

文化国際課の船津さんによれば、「楯取や初代市長下村善太郎、前橋の生糸など、最近クローズアップされている人物や物事が取り上げられていて、その存在が見直されつつあります。ことし1月には、臨江閣でかるた大会も行われたんですよ」とのこと。実際にやってみると新たな発見もあり、とても新鮮な気分になりました。

かるたゆかりの場所を巡って見えたのは
前橋文学館前の萩原朔太郎像や市役所近くの下村善太郎像など、前橋かるたにゆかりのある場所をいくつか訪ねてみました。
紅雲町二丁目にある龍海院は前橋藩主酒井家の菩提寺ですが、下村善太郎の墓もありました。知ったつもりになっていて、詳しくは知らな

かった前橋の歴史。行ってみてあらためて学ぶことができました。

ほかにもこんなにご当地かるた

市内にはこのほかに「富士見かるた」や「下川淵カルタ」、「芳賀かるた」、「あずまかるた」などたくさん種類の「ご当地かるた」があります。また、方言かるたや星座カルタなど個性豊かな物も製作されています。

さまざまなシーンで活用し前橋の記憶遺産に

前橋かるたをはじめ、市内にはたくさんのご当地かるたがあり、活用されています。ご当地かるたが、地域を知り、愛着を育むツールとして、そして、前橋の記憶遺産として今後さまざまな機会でも活用されると思います。



地元の宝がたくさん取り上げられている前橋かるた。実際にやってみました

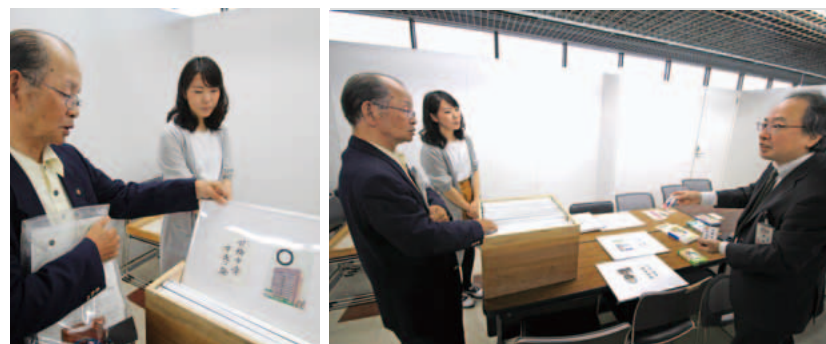
地元の宝を数々紹介「前橋かるた」

県内では知らない人はいないほど有名な「上毛かるた」。それとは別に、「前橋かるた」があるのを知っていますか。先日、最終回を迎えたNHK大河ドラマ「花燃ゆ」でおなじみの初代県令榎取素彦など、数々の前橋の名所や著名人などが取り上げられています。今回は、この「前橋かるた」、かるたゆかりの場所などを取材しました。
担当は市民編集委員 奈良博吉・狩野有沙

問い合わせは文化国際課 ☎027-898-6516

前橋の情報満載前橋かるたのできるまで

前橋かるたは昭和60年に前橋青年会議所の創立35年を記念して製作されたご当地かるた。自分の暮らすまちの素晴らしさや誇れる先人、歴史など、前橋の財産を次世代の子どもたちに伝え、まちを知ってもらおうきっかけにと製作されました。監修から読み札・取り札の製作まで前橋ゆかりの人々によって行われました。原画は市に寄付され、文化国際課に保管されています。また、読み札の裏にはそれぞれの説明が日本語と英語で書かれています。



かるたの原画は市に寄付されました

職員から前橋かるたについて説明を受ける 奈良さん(左)・狩野さん(中央)

